

パネリストの経歴

【コーディネーター ^{ひぐち よしお}樋口 美雄 氏（独立行政法人労働政策研究・研修機構 理事長）】

まち・ひと・しごと創生会議 有識者委員。

1952年生まれ。栃木県出身。商学博士。一橋大学経済学研究所客員教授、米国スタンフォード大学経済政策研究所客員研究員、オハイオ州立大学経済学部客員教授、慶応義塾大学商学部教授等を経て現職。慶応義塾大学大学院特任教授を兼務。専門は労働経済学・計量経済学。厚生労働省労働政策審議会会長などを歴任。

○ ^{やまざき りょう}山崎 亮 氏(studio-L 代表)

1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年に studio-L を設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。著書に『ふるさとを元気にする仕事(ちくまプリマー新書)』、『コミュニティデザインの源流(太田出版)』など。

○ ^{ふくい} ^{まさあき} **福井 正明 氏（滋賀県高島市長）**

1952年生まれ。立命館大学法学部卒業。滋賀県職員を退職後、滋賀県病院事業庁長として県立3病院の経営改善に取り組んだ。2013年から高島市長に就任。豊かな行政経験を活かして行政改革を進め、急速に人口減少が進む市の財政基盤を強化してきた。2015年に「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、2017年に「第2次高島市総合計画」を策定し、2期目となった現在は、生活基盤の整備、子育て支援、福祉医療の充実など、多岐にわたる分野の政策を展開している。特に市内の地域資源を活かした企業誘致や特産品海外販売戦略の事業展開による雇用創出を積極的に進め、たかしまの未来を創る持続可能なまちづくりの実現に取り組んでいる。高島市では、2015年7月から実践型地域雇用創造事業に取り組んでいる。

○ ^{きんじょう} ^{やすし} **金城 靖 氏（沖縄県糸満市副市長）**

1954年生まれ。熊本工業大学土木工学科卒業。糸満市職員を経て、2016年から現職。副市長就任以来、～魅力と活力に溢れたまちづくり～に取り組む市長を支え、主に農水産業における糸満ブランドの確立や流通加工拠点整備など6次産業化の推進に携わる。また、経営・労働環境の充実を目指し、特産品開発、観光産業における実践的人材育成などに取り組み、効果的な企業誘致などと併せ雇用の場の創出に努めている。市職員時代には経済観光部長として、糸満市地域雇用創造推進協議会の会長に2年間（2012・2013年）在任。糸満市では、2010年からの前回事業に引き続き、2013年12月から実践型地域雇用創造事業に取り組んでいる。

○ ^{のながせ} ^{ゆうじ} **野長瀬 裕二 氏（摂南大学経済学部 教授）**

地域雇用開発支援ワーキングチーム 副座長／一般社団法人首都圏産業活性化協会 会長。
1961年生まれ。学術博士。早稲田大学大学院国際経営学専攻博士課程修了。埼玉大学、山形大学を経て現職。専門はベンチャー企業経営、地域イノベーション、経営システム工学。主な著書に『地域産業の活性化戦略—イノベーター集積の経済性を求めて』。ニッポン新事業創出大賞・最優秀賞、経済産業大臣賞、日本ベンチャー学会・松田修一賞などを受賞。